

こんな取組に助成します！

この助成金は、平成24年度に施行した「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」に基づく取組の一環としてスタート。平成25年度も、より利用していただきやすく内容を見直して募集します。それでは、具体的にどんな取組に使えるのでしょうか？24年度に取り組みました事業の成果を交えてご紹介しますので、参考にいただき、皆様の地域でもぜひお取り組みください。

パンフレットやチラシ・ポスターで自治会加入を呼び掛け

自治会・町内会に加入されていない方の中には、「町内会を知らない」「加入するきっかけが無い」「声が掛からない」という方もたくさんおられます。そこで、自治会・町内会や学区の活動内容を紹介し、加入を呼び掛けるパンフレットやチラシを作成して、加入されていない方や引っ越して来られた方にお配りしてはいかがでしょうか。地域の歴史や名所も合わせて紹介すると、地域に愛着を持ってもらえてより効果的です。



加入啓発物を作成

自治会・町内会への加入を呼び掛ける際に、自治会等のスローガンなどを入れたティッシュ、マグネット、花の種などを渡すと、歓迎の気持ちが伝わって好感度が上がります。また、横断幕、のぼり、ポスターなどを作成して掲示することも、加入の気運を盛り上げる方法の一つです。



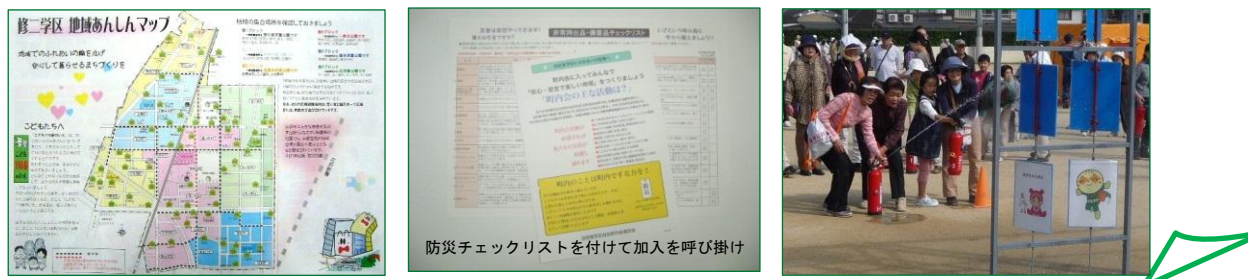
イベント会場で学区をPR

お祭りなどの地域イベントの会場には、自治会・町内会に未加入の方もたくさん来られます。自治会の活動を紹介するパネルを作成したり、加入を呼び掛けるブースを設置するなどにより、未加入の方に地域活動への参加を呼び掛けましょう。



防災や安全のための自治会の役割を強調

自治会・町内会に加入していただくためには、「自治会・町内会が何の役に立っているのか」を具体的に示すことが大切です。とりわけ、震災などの災害時の助け合いや、防犯など地域の安心安全については関心が高まっています。そこで、防災マップの配布や防災訓練の案内などと合わせて「自治会・町内会への加入」を呼び掛けることも効果的です。



加入世帯と未加入世帯が交流

ご近所さん同士、まずは顔なじみになってから、自治会・町内会への加入や地域活動への参加を呼び掛けるのも一手ではないでしょうか。地蔵盆、クリスマス、もちつき大会など、様々な機会を捉えて、自治会等の加入世帯と未加入世帯が交流する場を作るためにも、この助成制度は活用いただけます。(飲食を伴う場合は、食材費等に制限がありますので、事前にご相談ください。)



町内会を新たに設立

新築マンションや町内会が無い地域での町内会設立も支援。設立準備会や総会の会場代、資料代、設立直後の地域活動の費用などを助成します。



24年度は、あるマンションで助成制度を使って町内会を設立し、29世帯が加入。学区自治連合会の活動に参加され、学区民運動会では子ども達が喜びだったそうです。

助成制度を利用して 地域に新しい活力を！！

多くの自治会・町内会や学区自治組織では、役員の高齢化や活動の担い手不足が課題になっています。この助成制度を新たな担い手探しにぜひ活用してください。自治会等の役員以外の方や他の団体と一緒に取り組んでみれば、地域活動の新しい担い手が生まれ、地域コミュニティ活性化にきっとつながります。

この指とまれ♪

ホームページなどの広報活動やイベントの企画なら若者も協力してくれるかも。「実行委員会」や「チーム」を作って、有志を募ってみてはいかがでしょうか。やりがいを実感すれば、地域活動の担い手にもなってくれるかもしれません。



外と手をつなごう♪

取組によっては、学区自治組織や町内会単独よりも、各種団体やPTA、学生、NPO法人などの市民活動団体と連携すれば効果的です。学区自治組織の推薦があれば、それらの団体も助成申請可能ですので、この機会に地域の輪を広げましょう。



ホームページで情報発信

若い世代は、パソコンや携帯電話から情報を得ることが多くなっています。そうした人々に地域活動に関心を持ってもらうため、ホームページを開設している地域もあります。情報の更新などの作業を若い人をお願いすれば、地域活動に参加してもらうきっかけにもなりますよ。

